

# 全文連意見交換会の発言要旨

## 厳しき増す小売店環境

### ユーザーフェアで業界活性化も

青森・成田耕造氏（成田本店）＝弘前地区の組合で文具の展示会を開催した。個々の文具店が組合の力を借りて、組合組織の中で新商品の展示を行い、その後販売につながる機会をつくった。こうした組合活動を進めていくことが業界に少しずつ活気を取り戻すきっかけになるのではないかと。

卸連・原田和樹氏（東京クラウン）＝販売店が単独で開催しているユーザーフェアが盛ん。直近では、仙台のオフィスベンダーさんがユーザーフェア「杜の文具博」を開催し、好評を博している。

大阪・金澤利治座長＝文具女子博が各地で開催され盛況。始まった当初は入場料を支払ってまで行くお客様がいるのだから、と空想に盛んに行っている。メーカがユーザー企業に

が支えてユーザーフェアの開催へという流れを期待したい。

神奈川・八木幹雄氏（マールハチ）＝官公庁でのオフィスリニューアル需要がようやく始まった。また、事務機納入に際して、人件費の高騰もあり搬入費を計上している。

最近ではDX推進で、官公庁を中心にデジタル受発注へと切り替わっているが、実際は業務が複雑化し、効率化と逆行しているように見受けられる。小規模事業者においてデジタル化は望めず、もっぱらメールでのやり取りが中心。デジタル化対応できない業者は徐々にビジネスから撤退していくことになる。

大企業では人材確保のため、文具女子博が各地で開催され盛況。始まった当初は入場料を支払ってまで行くお客様がいるのだから、と空想に盛んに行っている。メーカがユーザー企業に

が支えてユーザーフェアの開催へという流れを期待したい。

神奈川・八木幹雄氏（マールハチ）＝官公庁でのオフィスリニューアル需要がようやく始まった。また、事務機納入に際して、人件費の高騰もあり搬入費を計上している。

最近ではDX推進で、官公庁を中心にデジタル受発注へと切り替わっているが、実際は業務が複雑化し、効率化と逆行しているように見受けられる。小規模事業者においてデジタル化は望めず、もっぱらメールでのやり取りが中心。デジタル化対応できない業者は徐々にビジネスから撤退していくことになる。

大企業では人材確保のため、文具女子博が各地で開催され盛況。始まった当初は入場料を支払ってまで行くお客様がいるのだから、と空想に盛んに行っている。メーカがユーザー企業に

が支えてユーザーフェアの開催へという流れを期待したい。

神奈川・八木幹雄氏（マールハチ）＝官公庁でのオフィスリニューアル需要がようやく始まった。また、事務機納入に際して、人件費の高騰もあり搬入費を計上している。



金澤利治副会長を議長に意見交換会を進行

直接アプローチしたり、事務機器メーカーの参入も散見される。

するユーザー向けのイベントを各地で開催することの意義は大きいと思う。

また、官公庁の物品購入に際して、入札を飛ばして通販から購入する地域もちらほら出てきている。今後対応として、各地域で官公庁ビジネスを行っている販売店同士の情報交換が重要。納品、官公庁、店売りなど、営業態勢によって悩むところが異なる。営業業



して、パイロットの協力を得てオリジナルのドクターグリップや万年筆の販売を始めた。また、この夏には代官山で、親子を対象にした即売会を開催。子どもの頃に体験したことは大人になっても覚えていて。工場見学や物流センターの見学も子どもは喜ぶので、フアンづくりのためにこうした企画を取り入れていきたい。

東京・中島良彰氏（なかじま商事）＝文具チェーンの例会は、毎月開催しており、コロナ禍は一時的に休会したが、オンラインを活用して継続している。例会では、意見交換や情報交換を深めている。問屋、メーカーとの交流も行い、フェイストゥフェイスで繋

金澤座長＝組合では、全組合員に決算書の提出を義務づけられているのか。

東京・中島良彰氏（なかじま商事）＝組合が支払い保証をしている以上、健全な経営状態であるかの確認は必要なので、各社に決算書を提出してもらっている。決算書から経営状態を判断し、芳しくない会社には委員が集まってアドバイスも行っている。

金澤座長＝こうした仕組みは珍しいが、仕入れ先メーカーに対しての信用性にも繋がるし、良い取り組みだと思つ。

愛知・住田宏氏（フングス）＝組合員数は、会長を引き継いだ2012年には100社だったが、現在では40社に半減している。見本市や展示会に代わる企画

として「あいち文具屋大賞」を2013年にスタート今年で第12回を迎える。愛知県内の文具店のフロアが選ぶ本当におすすしたい文具を紹介している。ユーザーへ配布する販促チラシも用意して、購買機会につなげている。また、地元卸や取引先にも紹介してもらい、賞の認知度を高めている。

金澤座長＝仕入れに際して物流費が上がって、発注金額に何万円以上必要という仕入れ先が始まっている。問屋においても毎日定郵便を出しているのが、物流費の高騰により3日に1回に、週に1回に減速している。厳しい状況にある。かたや大手ネット通販は送料無料で、アマゾン、楽天、モノタロウから商品を仕入れ、仕入れた値段に若干価格を上乗せして販売する販売店もあつたようだ。

愛知・住田宏氏（フングス）＝アマゾンから買ってほしいというリクエストする客もある。

福岡・吉松一幸氏（福岡屋）＝デジタル庁が推奨している「ガバメントソリューションサービス（略称GSS）」（最新技術を採用しつつ、各省庁の環境の統合を順次進めることにより、政府共通の標準的な業務実施環境）が全国で最初に試験的に導入されたのが福岡。役所でクレジットカード払いができるようになり、どこでも、どこからでも買えるようになる。アマゾン、楽天、アスクルなども口座開設しているという話も聞く。業界への影響については色々なところでヒアリングしながら情報を収集しているところで、組合員と議論を重ねる中で新たな取り組みを行っている。

長崎・石丸忠重氏（石丸文行堂）＝当社は店売り主体だが、納品と店売り、業態によって企業業績に格差が出ている。

店舗は商店街の立地で、商店街活性化が最大の課題。価格対応は会員カードの中で、学生を対象に実施するにとどめ、ニュースや

組合員数は43社。2、3年前は50社あったが、廃業もあり減少している。エリアを広げると、未加入の会社は110社ほどあり、加入促進への働きかけをしていこうと取り組みを進めている。

当組合も組合員の若返りに伴い、さらにステップアップしようと、協同組合へ移行するか、一旦解散して新たに組合を新設するか模索している。このほか、自治体向けの共同カタログ作成、自治体の納品の共同配送などを計画している。各地区との情報交換を通じて知恵を絞る、次なるステージへと進んでいきたい。

熊本・奥羽信二氏（おくばおエスブレイン）＝熊本リビング新聞社の主催、当組合の共催で、「文具LOVE博」を2年前より開催。3日間で1万人を動員している。定価販売にもかかわらず開場前から長蛇の列ができた。

新商品の提案などの情報発信を強化している。

夏の大型イベント「こほろびフェスタ」を今年は7月5、6日に島メッセ長崎で開催。雑貨、服飾雑貨、飲食などの地元の異業種と連携し、2日間3万人の来場を動員した。好成果のお陰で、出展メーカーからの勧誘もあり新規メーカーの出店が増えている。

京都・島嘉秀氏（長角堂）＝京都も会員数が増えている。生き残りを模索している。人口減、学生減の中で、文房具だけでは生きていけない。組合員の中には書道教室やカフェの併設、書店とのコラボなど、様々な取り組みをされている。

今年度は大阪文協の「ぶんく博」を後援する形で参加した。関西は神戸、大阪、京都と合同での研修会や懇親会を行っており、今後も連携を取って活発に活動を進めていきたい。

神戸・長澤宗弘氏（ナガサワ文具センター）＝文具専門店を取り巻く環境は非常に厳しく、その中にある、多くの文具専門店が継続する努力を続けている。絶滅危惧種であり、いっそ「天然記念物」に認定してもらえれば、潰すことが出ない。

品揃えを変えていけば、商売として成立できる可能性は高まると思うが、それだと専門店ではなくなってしまう。今、流通3段階の良さをあらためて見直しているところ。それぞれが担う役割をきっちり果たしていくことで、商売が成立できることは最高だと思う。

メーカーの思いを込めた商品をお客様に伝えて提案する、小売としての役割を遂行していくので、各位の一層の協力・支援を願っています。

文ガチャBOXの販売店を募集

○セキセイセキセイ株式会社（西川智也社長、大阪市）は、ボックスタイプの文具ガチャ「文ガチャBOX」の販売店を募集している。ガチャの商品は、好評販売中のデコピンシリーズの本当に使えるミニ文具（消しゴム、缶ミラー、3枚セットのステッカー、スリッパ、スタンプ、アンブレラマーカー、はさみ、缶バッジ、のり、ホッチキス、テープ）で、簡

に設置できるボックスタイプの什器入り。なお、デコピンシリーズの収益の一部は、動物愛護に役立てる。問い合わせは、☎03（813）6531。

フジヤ號 山本社社長

加古川商工会議所会頭に就任

株式会社フジヤ號社長・山本亜也氏は11月4日付で、加古川商工会議所の新会頭に選任された。同氏は、昭和14年2月に加古川市寺家町商店街において万年筆店として創業して以来、約80年間加古川市、高砂市、明石市、稲美町、播磨町など地元を中心に、全国に活動エリアを拡大、事業を進展させている。地元・加古川では文具・雑貨の店「ステフォレ」を運営している。

加古川市寺家町商店街において万年筆店として創業して以来、約80年間加古川市、高砂市、明石市、稲美町、播磨町など地元を中心に、全国に活動エリアを拡大、事業を進展させている。地元・加古川では文具・雑貨の店「ステフォレ」を運営している。

加古川市寺家町商店街において万年筆店として創業して以来、約80年間加古川市、高砂市、明石市、稲美町、播磨町など地元を中心に、全国に活動エリアを拡大、事業を進展させている。地元・加古川では文具・雑貨の店「ステフォレ」を運営している。

加古川市寺家町商店街において万年筆店として創業して以来、約80年間加古川市、高砂市、明石市、稲美町、播磨町など地元を中心に、全国に活動エリアを拡大、事業を進展させている。地元・加古川では文具・雑貨の店「ステフォレ」を運営している。

加古川市寺家町商店街において万年筆店として創業して以来、約80年間加古川市、高砂市、明石市、稲美町、播磨町など地元を中心に、全国に活動エリアを拡大、事業を進展させている。地元・加古川では文具・雑貨の店「ステフォレ」を運営している。

加古川市寺家町商店街において万年筆店として創業して以来、約80年間加古川市、高砂市、明石市、稲美町、播磨町など地元を中心に、全国に活動エリアを拡大、事業を進展させている。地元・加古川では文具・雑貨の店「ステフォレ」を運営している。

カード用ポケットは縦横兼用で使えよ！

大好きやワクワクを そっと詰め込んで。

あなたの大切な推しのコレクションを整理したり、一緒に出かけたり。〈ファンデス〉は、あなたならではの“ひそかな推し活”を応援するシリーズです。

- コレクション用/バインダー（全2色）税込¥3,190（税抜¥2,900）、カード用ポケット（10枚入り）税込¥935（税抜¥850）
- カード用ケース（全5色）税込¥1,188（税抜¥1,080） ●グッズ用ケース（全5色）税込¥2,002（税抜¥1,820）

株式会社 ライオン事務器 <https://www.lion-jimuki.co.jp/ja/>  
お客様相談室 TEL ☎ 0120-074416 FAX ☎ 0120-402539

カード用ポケットは縦横兼用で使えよ！

大好きやワクワクを そっと詰め込んで。

あなたの大切な推しのコレクションを整理したり、一緒に出かけたり。〈ファンデス〉は、あなたならではの“ひそかな推し活”を応援するシリーズです。

- コレクション用/バインダー（全2色）税込¥3,190（税抜¥2,900）、カード用ポケット（10枚入り）税込¥935（税抜¥850）
- カード用ケース（全5色）税込¥1,188（税抜¥1,080） ●グッズ用ケース（全5色）税込¥2,002（税抜¥1,820）

株式会社 ライオン事務器 <https://www.lion-jimuki.co.jp/ja/>  
お客様相談室 TEL ☎ 0120-074416 FAX ☎ 0120-402539